



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社
 コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 葛山 稔
 (氏名) 桜庭 勲
 配当支払開始予定日 未定

TEL 03-3201-1541

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,373	30.9	△311	—	△396	—	△422	—
26年3月期第3四半期	10,214	△28.2	△318	—	△364	—	△724	—

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 △424百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △365百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△1.46	—
26年3月期第3四半期	△2.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	8,327	7,205	86.3	24.80
26年3月期	8,824	7,626	86.4	26.31

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 7,183百万円 26年3月期 7,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	25.5	380	△18.8	290	△30.1	60	—	0.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	289,747,982 株	26年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	93,274 株	26年3月期	91,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	289,655,506 株	26年3月期3Q	289,658,315 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策の金融緩和策を背景に企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費増税前の駆け込み需要の反動減による個人消費の減速、海外景気の下振れ懸念等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金生産能力に見合った原料の集荷量が当初見込みを下回ったものの、金・銀・プラチナ等の貴金属価格が10月中旬以降、地政学的リスクの高まりから上昇基調で推移したことにより、業積は堅調に推移いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減等の影響により、厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、海外自動車市場の堅調さを背景に受注環境は国内及び欧米を中心に回復基調にあり、中古工作機械業界においても概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期の売上高は13,373,335千円（前年同四半期10,214,132千円）、営業損益は311,395千円の損失（前年同四半期318,597千円の損失）、経常損益は396,343千円の損失（前年同四半期364,414千円の損失）、四半期純損益は422,118千円の損失（前年同四半期724,536千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は10,453,389千円（前年同四半期7,071,300千円）、営業損益は72,970千円の利益（前年同四半期169,511千円の損失）となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は1,181,412千円（前年同四半期831,428千円）、営業損益は81,773千円の損失（前年同四半期45,074千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は352,158千円（前年同四半期441,676千円）、営業損益は244千円の損失（前年同四半期123,106千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,337,257千円（前年同四半期1,403,734千円）、営業損益は20,375千円の利益（前年同四半期50,623千円の損失）となりました。

投資事業におきましては、売上高は24,620千円（前年同四半期430,131千円）、営業損益は6,178千円の利益（前年同四半期406,678千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より497,333千円減少し、当第3四半期末は、8,327,415千円となりました。

増加の主なものは商品及び製品の増加（1,080,841千円から1,261,155千円へ180,314千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（1,646,555千円から1,020,952千円へ625,603千円の減少）であります。

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度より76,755千円減少し、当第3四半期末は、1,121,534千円となりました。

減少の主なものは、長期借入金の減少（668,340千円から563,580千円へ104,760千円の減少）であります。

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より420,577千円減少し、当第3四半期末は、7,205,880千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（△5,133,889千円から△5,556,007千円へ422,118千円の減少）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期業績予想につきましては、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、連結業績予想及び個別業績予想の修正は行っておりません。確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,555	1,020,952
売掛金	20,066	26,063
商品及び製品	1,080,841	1,261,155
仕掛品	131,111	161,813
原材料及び貯蔵品	2,163	49,325
販売用不動産	96,512	136,126
仕掛不動産	429,044	360,287
預け金	1,860,524	1,759,811
デリバティブ債権	—	24,620
その他	90,948	148,510
流動資産合計	5,357,767	4,948,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,386,731	1,391,685
減価償却累計額	△422,507	△480,407
建物及び構築物(純額)	964,224	911,278
機械装置及び運搬具	527,426	525,841
減価償却累計額	△423,386	△433,412
機械装置及び運搬具(純額)	104,040	92,428
土地	1,691,391	1,691,391
その他	116,387	113,008
減価償却累計額	△102,817	△100,375
その他(純額)	13,569	12,632
有形固定資産合計	2,773,224	2,707,730
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	6,742	8,309
無形固定資産合計	371,742	373,309
投資その他の資産		
投資有価証券	154,139	138,179
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	146,965	138,460
その他	11,703	11,863
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	322,012	297,708
固定資産合計	3,466,980	3,378,748
資産合計	8,824,748	8,327,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,974	13,959
1年内返済予定の長期借入金	139,680	151,320
未払金	68,020	45,231
未払法人税等	29,401	24,001
その他	26,577	80,942
流動負債合計	283,654	315,454
固定負債		
長期借入金	668,340	563,580
長期未払金	1,800	—
金属鋳業等鋳害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	21,378	21,801
繰延税金負債	34,726	29,225
資産除去債務	181,357	184,439
固定負債合計	914,635	806,079
負債合計	1,198,290	1,121,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,133,889	△5,556,007
自己株式	△31,039	△31,095
株主資本合計	7,617,136	7,194,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,148	△11,068
その他の包括利益累計額合計	3,148	△11,068
少数株主持分	6,172	21,986
純資産合計	7,626,457	7,205,880
負債純資産合計	8,824,748	8,327,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,214,132	13,373,335
売上原価	9,404,067	12,612,009
売上総利益	810,065	761,326
販売費及び一般管理費	1,128,662	1,072,722
営業損失(△)	△318,597	△311,395
営業外収益		
受取利息	123	121
国庫補助金収入	45,186	20,138
為替差益	5,655	—
その他	5,531	5,312
営業外収益合計	56,497	25,571
営業外費用		
支払利息	20,528	9,241
休山管理費	76,770	88,875
その他	5,016	12,402
営業外費用合計	102,314	110,519
経常損失(△)	△364,414	△396,343
特別利益		
固定資産売却益	36,555	—
その他	4,488	—
特別利益合計	41,044	—
特別損失		
固定資産除却損	—	963
商品被害損失	4,402	—
特別損失合計	4,402	963
税金等調整前四半期純損失(△)	△327,772	△397,307
法人税、住民税及び事業税	19,712	16,554
法人税等調整額	17,698	△3,757
法人税等合計	37,411	12,797
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△365,183	△410,104
少数株主利益	359,353	12,013
四半期純損失(△)	△724,536	△422,118

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△365,183	△410,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△14,216
その他の包括利益合計	—	△14,216
四半期包括利益	△365,183	△424,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△724,536	△436,335
少数株主に係る四半期包括利益	359,353	12,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,071,300	831,428	441,676	1,403,734	430,131	5,181	30,680	10,214,132
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	12,050	—	—	—	—	12,050
計	7,071,300	831,428	453,726	1,403,734	430,131	5,181	30,680	10,226,183
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△169,511	△45,074	△123,106	△50,623	406,678	△98,015	2,136	△77,515

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	10,214,132
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,050	—
計	△12,050	10,214,132
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△241,081	△318,597

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△241,081千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△241,081千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	10,453,389	1,181,412	352,158	1,337,257	24,620	5,180	19,317	13,373,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	12,022	—	—	—	—	12,022
計	10,453,389	1,181,412	364,181	1,337,257	24,620	5,180	19,317	13,385,358
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	72,970	△81,773	△244	20,375	6,178	△40,116	△10,743	△33,352

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	13,373,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,022	—
計	△12,022	13,373,335
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△278,042	△311,395

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に企画開発関連を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△278,042千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

前連結会計年度から、「調整額」に含まれていた「研究開発」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。

また、平成26年9月30日付で研究開発事業を廃止いたしました。